

2018年6月21日

異種の行先幕が取り付けられていた事象について

2018年6月13日、網走駅構内で網走 5時56分発 札幌行き 特急オホーツク2号において、側面行先幕が動かない不具合が発生しました。札幌駅まで運行後、苗穂運転所にて車両点検を行ったところ、側面行先幕（1本）が正規と異なるものがついていたことを発見しました。

また、6月15日、苗穂運転所構内で札幌 17時30分発 網走行き 特急オホーツク3号となる車両において、側面行先幕が動かない不具合が発生しました。車両点検を行ったところ、側面行先幕（2本）が正規と異なるものがついていたことを発見しました。

さらに上記の事象を受け、苗穂運転所に所属している183系車両の行先幕の一斉点検を行っていたところ、先頭車の正面愛称幕（1本）が取り外され、白幕が取り付けられた状態であることを発見しました。

当該車両は札幌～網走間の運行に使用しており、所属箇所である苗穂運転所のほか、網走駅でも夜間に長時間滞泊しております。盗難・紛失の可能性も含めて警察署に相談しております。

なお、列車の運行に影響はありませんでした。

「異種が取り付けられていた行先幕」（別紙参照）

- ・側面行先幕 3本（2両）

「取り外されていた愛称幕」（別紙参照）

- ・正面愛称幕 1本（1両）

側面行先幕 3本



6月13日発見車両 1本



6月15日発見車両 2本

側面行先幕



異種品



正規品は20コマの行先幕であるが、異種品は5コマであった。

※側面行先幕は、運転台で列車名と行先を設定することで、列車ごとの行先幕が表示される。

正面愛称幕 1本



6月15日発見車両 1本

正面愛称幕



白幕が取り付けられた状態

